

清流たより

【7月号】

発行：第126号 平成20年7月
高知県中央西福祉保健所

今月のカレンダー

| 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|--|
| 1 | 火 | |
| 2 | 水 | |
| 3 | 木 | 管内社会福祉協議会長意見交換会（日高村、14:30～） 犬・猫保護収集（日高村、佐川町、越知町、仁淀川町） |
| 4 | 金 | |
| 5 | 土 | |
| 6 | 日 | |
| 7 | 月 | 犬・猫保護収集（いの町） |
| 8 | 火 | エイズ・肝炎検査（福祉保健所、13:00～15:00※2） |
| 9 | 水 | 犬・猫保護収集（土佐市） |
| 10 | 木 | 犬・猫保護収集（日高村、佐川町、越知町、仁淀川町） 献血（佐川町：佐川町役場前10:00-12:00, 13:00-15:30） |
| 11 | 金 | |
| 12 | 土 | |
| 13 | 日 | |
| 14 | 月 | 地域歯科衛生士検討会（福祉保健所、13:30-15:30） |
| 15 | 火 | |
| 16 | 水 | |
| 17 | 木 | 肢体不自由児・者巡回相談（療育福祉センター主催） |
| 18 | 金 | 献血（土佐市：高知リハビリテーション学院前9:30-16:30） |
| 19 | 土 | |
| 20 | 日 | |
| 21 | 月 | 海の日 |
| 22 | 火 | 犬・猫保護収集（いの町）、エイズ・肝炎検査（福祉保健所、13:00～15:00※2） エイズ夜間検査（福祉保健所、17:30～18:30※3） |
| 23 | 水 | |
| 24 | 木 | |
| 25 | 金 | 犬・猫保護収集（日高村、佐川町、越知町、仁淀川町） |
| 26 | 土 | |
| 27 | 日 | |
| 28 | 月 | 犬・猫保護収集（土佐市） 日高村要保護児童対策地域協議会（日高村保健センター、14:00-16:00） |
| 29 | 火 | 療育相談（つくしこ相談、福祉保健所、9:00-17:00※1） 献血（越知町：越知町役場前10:00-12:00, 13:00-15:30） |
| 30 | 水 | いの町婦人会夏季研修会（かんぼの宿、10:00-12:00） |
| 31 | 木 | 難病広域連携会議（佐川町健康福祉センターかわせみ、13:00～16:30） |

※1：相談には電話予約が必要です。（障害保健福祉担当 TEL0889-22-1249）

※2：エイズ検査のみ前日までに電話予約が必要です。（感染症担当 TEL0889-22-2588）

※3：検査日の前週の金曜日までに電話予約が必要です。（感染症担当 TEL0889-22-2588）



「愛の血液助け合い運動」月間

期間：7月1日～7月31日

今後少子高齢社会が進んでいくなかで、若年層はもちろん各年代層で必要な献血量を支えあっていくことがますます大切になっていきます。

いつでも患者さんに血液をお届けできるように、定期的な献血のご協力をお願いします。

暑い夏を迎え、血液が不足しがちなこの時季、移動献血車や献血ルームを見かけたら、ぜひご協力を！

献血で未来へつなぐ命の輪



青少年の非行問題に取り組む 全国強調月間

飲酒や喫煙、薬物乱用、万引き、出会い系サイトなどの誘惑から青少年を守りましょう。

土佐っ子育成プラン「青少年育成の重点課題」

- 1 青少年のエネルギーを蓄積・発散できる場づくり
- 2 家庭・学校・地域の交流と連携
- 3 青少年が夢をいだき実現できる大人社会の実践

第1回難病広域連携会議 中央西 について

◆日時：平成20年7月31日（木）13:00～16:30

◆場所：佐川町健康福祉センターかわせみ
元気ホール

難病支援関係者を対象に“神経難病”について、南国病院副院長の高橋美枝先生が疾患の特徴（症状）と医療や、他へのかかわり（リハビリ、訪問看護、ST評価等）、訪問診療事業の対象者の見方、視点などわかりやすく説明してください。

◆問い合わせ先：健康障害課（担当：森田）
TEL：0889-22-1249、FAX：0889-22-9031

今月の注目情報 2ページ目 「衛生害虫」多発期突入！

福祉保健所には「ハチの巣がある」、「保育所や学校でアタマジラミが流行している」などの相談が寄せられます。特に、ハチに刺されて死亡する方は毎年20人以上にのぼります。正しい知識を持ち、いざという時に備えましょう。

ハチに気をつけましょう！

毎年夏から秋にかけて、ハチに刺される事故が多く発生しています。これからの季節、特に注意が必要です。

ハチに刺されないために

- ☆ 巣に近づかない。巣の近くでは作業をしない。不必要に藪に入らない。
- ☆ 屋外での作業や山歩きの際は、つばの広い帽子、長そで、長ズボン、手袋などを着用し、頭や肌の露出を避ける。
- ☆ ハチは黒い色や甘い臭いに誘われる性質があるので、香水や黒い色の衣服は避ける。
- ☆ 洗濯物を取り込むとき、ハチが紛れ込んでないか確認する。
- ☆ ハチは死んでからでも、24時間以内に触れると毒針を刺す危険があります。

ハチに刺されたとき

- ◎ その場から身を低くして速やかに遠ざかる。
- ◎ 毒針が刺さっていたら抜きとる。
- ◎ 傷口を冷水で冷やす。
- ◎ 抗ヒスタミン軟膏かステロイド軟膏を塗る。(アンモニアは効果がありません。)
- ◎ ハチアレルギー体質の人が刺されるとショック状態に陥り死亡する場合もあるので、直ちに医師の診察を受けてください。

ハチに刺されて発疹や吐き気などの症状が出たことがある人は、周囲の人にそのことを話しておきましょう。

アタマジラミに気をつけましょう！

アタマジラミは、1～3mm程度の小さな虫で、頭髪に寄生し、人の血を吸います。病原体の媒介はしませんが、激しいかゆみや精神的なストレスを生じさせます。アタマジラミは、清潔にしているにもかかわらず、接触の機会があればうつります。被害は小学生以下の子供に多くみられます。子供さんが頭をとともかゆがっていたら、そっと調べてみてあげてください。成虫は動きが早く見つけにくいですが、卵は注意深く観察すると見つけることができます。卵は髪の毛にしっかりくっついていて、指でつまんでも簡単には取れません。

人体を離れたアタマジラミは2～3日程度で死んでしまいます。

アタマジラミに感染したとき

- ◎ 感染に気がいたら、すぐに皮膚科など医療機関を受診する。
- ◎ 毎日、大人が丁寧にシャンプーする。
- ◎ 洗髪後、目の細かいすきぐしやブラシでよく髪をすく。
- ◎ 枕カバー、シーツ、タオル、下着等を毎日取り替え、60℃、5分間消毒後、洗濯をする。
- ◎ タオル、帽子、スカーフ等を共用しない。
- ◎ 駆除剤（スミスリン剤）を使う場合は、用法用量を守って使用する。

※ご質問・ご相談は、中央西福祉保健所 衛生環境課（電話 0889-22-1286）までお問い合わせください。



ドメスティック・バイオレンス (DV) に関する相談について

配偶者からの暴力(DV)が深刻な社会問題になっています。これは、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。DVは、「配偶者」間という親密な関係の中で起こることや外部からの発見が困難な家庭内において行われるため、潜在化しやすく、しかも加害者には罪の意識が薄いという傾向があります。このため、周囲も気付かないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすい特性があります。本県においても、DV被害者からの相談や一時保護が増加しています。被害が大きくならないうちに下記までご相談ください。

1 女性相談支援センター（高知市百石町3-11-6）

TEL：088-834-5621、相談専用TEL：088-833-0783

2 最寄りの警察署

3 中央西福祉保健所

TEL：0889-22-1247